

アルミニウム製庇

(RSバイザー RS-M10/M18型)

施工要領

確実な施工を行い、製品の安全を確保するため、施工前にこの「施工要領」を必ずお読みください。

— 目 次 —

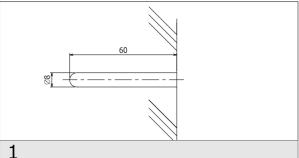
施工上の注意点	 1
施丁手順 ———	 2

🔥 施工上の注意点

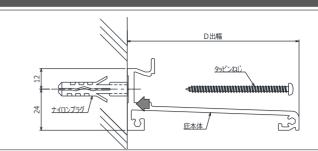
- □ 転落や破損の恐れがありますので、庇に乗ったりぶらさがったりしないでください。
- □ ねじやボルトは全て確実に締めてください。
- □ 施工後、ねじやボルトにゆるみやガタつき、その他使用上危険な箇所等がないか確認してください。
- □ 正規の施工方法以外での取付けや、改造等は行わないでください。

※改良のため、予告なく製品の一部を変更する場合があります。御了承ください。

■ 施工手順

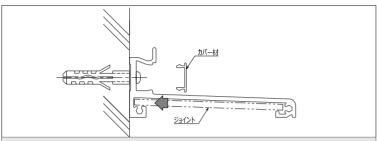


割付図に基づき墨出しを行い、躯体にプラグ穴をあけます。 (ドリル径φ8mm、深さ 60mm)



2

各プラグ穴にナイロンプラグを挿入し、庇本体に取付穴をあけた後、庇本体をドリルねじで取付けます。



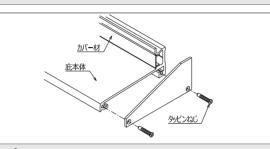
3

庇本体が確実に固定されているか確認の上、カバー材を正面から あて木等をあて、ハンマー等で軽く 叩き込みます。



注 意

カバー材は確実に取付けてください。 外れると事故の原因になります。



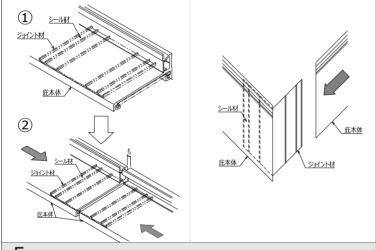
4

小口蓋は付属の タッピンねじで 固定してください。



意

小口蓋は確実に取付けてください。外れると事故の原因になります。

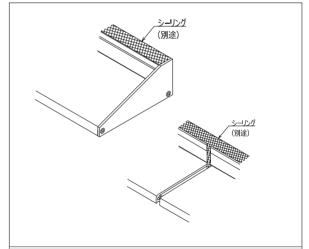


5

- ① ジョイント部はジョイントあらかじめ片方の庇本体にセットします。
- ② 庇本体に取付けた後、ジョイントをスライドさせます。 この時、庇本体間に 6mm の隙間目地を設けます。
- ~ コーナーの場合 ~

取付手順は①②に準じます。

※ 目地は設けず、突き当てとしてください。



6

庇本体・カバー材・小口蓋が確実にセットされているか確認 のうえ、防水シールを施します。